

支出の状況 支出済額 84億5,083万円 執行率88.6%

執行率	予算額(上段) 支出済額(下段)	科目
95.0%	24億0,742万円 22億8,720万円	民生費 社会福祉サービスなど
69.5%	17億7,898万円 12億3,688万円	総務費 市職員給与や市役所の管理運営など
89.8%	13億0,418万円 11億7,140万円	衛生費 保健衛生やごみ処理など
99.9%	12億5,636万円 12億5,582万円	公債費 借り入れたお金の返済など
97.8%	10億5,393万円 10億3,035万円	土木費 道路、公園の建設など
90.2%	6億1,132万円 5億5,150万円	教育費 教育、文化スポーツ振興など
94.5%	4億5,459万円 4億2,944万円	消防費 消防、救急活動など
88.4%	2億3,117万円 2億0,434万円	農林水産業費 農林水産業の振興など
95.3%	1億5,278万円 1億4,566万円	商工費 商工業、観光業の振興など
47.4%	2億9,173万円 1億3,824万円	その他 議会費災害復旧費など

環境整備として、「須崎・白浜漁港漁場整備事業」ごみ焼却炉改良事業(2ヶ年)を推進し、防災対策では、「全国瞬時警報システムの導入」「消防組合の高規格救急車更新の予算措置」にも取り組み、また、教育面では、「下田中学校屋内運動場改修」「4中学校にA E

D(自動体外式除細動器)の配備を実施しました。福祉施策の面では、「乳幼児医療費の自己負担と所得制限を廃止」(福伊豆つくし会へ「知的障害者(児)施設整備等の支援」を行い、また、観光施策として「爪木崎公衆トイレの整備」にも取り組みました。

2年目となるごみ焼却炉改良事業や市民文化会館大ホール整備、定額給付金給付事業のため、平成20年度最終予算は95億4,247万円と前年度より5.8%増となりました。3月31日現在、一般会計の

収入の状況 収入済額 88億0,323万円 収入率92.3%

科目	予算額(上段) 収入済額(下段)	収入率
市税	32億8,933万円 32億1,674万円	97.8%
地方交付税	26億2,173万円 26億2,173万円	100%
国庫支出金	11億4,499万円 6億5,900万円	57.6%
市債	6億5,670万円 6億1,760万円	94.0%
県支出金	4億6,616万円 3億7,419万円	80.3%
繰越金	2億7,663万円 2億7,663万円	100.0%
地方消費税交付金	2億6,847万円 2億6,847万円	100.0%
繰入金	1億8,590万円 1億8,563万円	99.9%
使用料及び手数料	1億6,434万円 1億4,856万円	90.4%
分担金及び負担金	1億4,467万円 1億4,504万円	100.3%
その他	3億2,355万円 2億8,964万円	89.5%

収入済額は、88億0,323万円、予算に対する収入率は92.3%となっています。また、支出済額については、84億5,083万円、予算に対する執行率は88.6%となっています。

市民一人あたり34万4,563円一世帯あたり76万5,033円

平成20年度 下期執行状況 下田市の財政状況

特別会計及び事業会計 予算総額101億7,627万円

会計名	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
稲梓財産区特別会計	144万円	149万円 (103.5%)	31万円 (21.5%)
下田駅前広場整備事業特別会計	1,219万円	1,221万円 (100.2%)	960万円 (78.8%)
公共用地取得特別会計	4,017万円	4,016万円 (99.9%)	4,016万円 (99.9%)
国民健康保険事業特別会計	34億5,728万円	30億7,404万円 (88.9%)	31億6,759万円 (91.6%)
老人保健特別会計	3億2,097万円	3億0,250万円 (94.2%)	3億0,079万円 (93.7%)
介護保険特別会計	18億4,555万円	17億4,429万円 (94.5%)	16億5,572万円 (89.7%)
後期高齢者医療特別会計	2億7,656万円	2億7,286万円 (98.7%)	2億4,159万円 (87.4%)
集落排水事業特別会計	2,637万円	2,631万円 (99.8%)	1,997万円 (75.7%)
下水道事業特別会計	29億1,884万円	25億5,682万円 (87.6%)	28億0,975万円 (96.3%)
水道事業会計	12億7,690万円	12億3,540万円 (96.7%)	11億8,916万円 (93.1%)

特別会計とは、地方公共団体が特定の収入を使って特定の事業を行う場合に、経理を明確にするため、一般会計と分けて収支経理する会計のことをいいます。(この会計の設置については、法令に義務づけられてい

るものを除き、すべて条例によらなければなりません)平成20年度現在、下田市には新たに設置した後期高齢者医療特別会計など9つの特別会計と、事業会計として水道事業会計があります。

一般会計目的別の市債

目的別	残高	構成比
土木債	20億7,079万円	22.6%
商工債	11億3,661万円	12.4%
保健衛生債	7億2,631万円	7.9%
教育債	5億1,538万円	5.6%
農林水産業債	3億2,392万円	3.5%
その他	44億0,153万円	48.0%
合計	91億7,454万円	100.0%

1人当たりの市税負担額

都市計画税	固定資産税	市民税
7,647円	59,790円	45,423円
軽自動車税	市たばこ税	入湯税
1,962円	7,385円	3,666円

各会計市債合計 207億2,766万円

会計名	残高	構成比
一般会計	91億7,454万円	44.3%
下水道事業会計	82億4,518万円	39.7%
水道事業会計	32億0,874万円	15.5%
集落排水事業会計	9,920万円	0.5%
一人当たり	811,291円	
一世帯当たり	1,801,309円	

市有財産の状況

土地	3,889,189平方メートル (一般会計分)
建築物	87,156平方メートル (一般会計分)
基金	15億7,255万円
出資による権利	8億3,897万円
有価証券	200万円

市民のみなさまに、市の財政の状況を知っていただくため、毎年2回(上期、下期)「下田市の財政状況」を公表しています。これは、みなさまからの税金や国、県から交付されるお金がどのように使われているかをお知らせするもので、下田市の財政状態を示した家計簿と同じものです。今回は、平成20年度下半期(平成21年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。